

10.九州(地域別調査機関:(財)九州経済調査協会)

(-:回答が存在しない、 :主だった回答等が存在しない)

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	百貨店(営業担当)	販売量の動き	・前年の売上をクリアしている。
		一般レストラン(経営者)	それ以外	・3か月連続で売上が前年比増である。新規出店や特設ビアホールのイベントが功を奏した。
	やや良く なっている	商店街(代表者)	来客数の動き	・商店街の近くにイベント広場ができ、来客が増えた。業種、業態によって売上にかなり差があるが、活気が出ている。
		商店街(代表者)	お客様の様子	・高校総体が地元で開催されることもあり、ホテル、タクシー、飲食等の業界の売上が少し戻っている。
		百貨店(売場担当)	販売量の動き	・夏物衣料のバーゲンセールが非常に好調である。また、高価格の秋物衣料も昨年より順調に売上を伸ばしている。
		百貨店(売場担当)	販売量の動き	・売上は前月並みだが、一品単価の伸びは前月より若干低下した。入店客数は前月並み、購買客数は同4.9ポイント増、購買数量は同8.6ポイント増で推移している。
		コンビニ(店長)	来客数の動き	・新幹線工事に加えて天候にも恵まれ、客単価が上がっている。
		その他専門店[ガソリンスタンド](統括)	販売量の動き	・梅雨明けが前年より遅かったにもかかわらず、燃料油、カーケア用品の売上が前年比増である。
		その他飲食[居酒屋](店長)	お客様の様子	・本格焼酎ブームにより、県外客が増えた。本格焼酎を求める県外客で、店は毎日ぎわっている。
		観光型ホテル(スタッフ)	販売量の動き	・個人催事(披露宴、法要)が好調である。また、長崎ゆめ総体の影響で宿泊予約も好調である。
		都市型ホテル(副支配人)	単価の動き	・来客、問い合わせ数が増えている。また、客単価も少し上昇している。
		旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・SARSの影響はまだ残るが、海外申込(個人客)は増えている。
		テーマパーク(職員)	来客数の動き	・テーマパークの季節営業により、夏休みの家族客が増加している。
		設計事務所(職員)	販売量の動き	・増改築や店舗改装の仕事が増えた。
変わらない	百貨店(営業担当)	単価の動き	・来客数は前年を上回っているが、レジ客数、一品単価は前年並で、買物に慎重になっている。また、中元ギフトでも贈答先の絞り込み傾向が続いている。	
	スーパー(店長)	販売量の動き	・昨年はBSEの影響で鮮魚、水産部門がよく売れたが、今年はその反動で水産部門が不調である。肉の売上も好調ではなく、全体としては変わらない。	
	スーパー(店長)	販売量の動き	・ギフトの売行きは好調だが、通常の生鮮食料品、食料品、雑貨の売上が落ちている。	
	スーパー(店長)	来客数の動き	・来店客数の減少に歯止めがかかった。	
	スーパー(店長)	単価の動き	・ボーナス商戦は、販売点数、客数が増加傾向にあるものの、一点単価が前年比7.5%減となり、単価が安いものに需要が集中している。ギフトについては客単価が5%ダウンという状況である。	
	スーパー(総務担当)	単価の動き	・長雨と冷夏の影響で、夏物の売行きが良くない。	
	スーパー(企画担当)	お客様の様子	・来店客数、客単価ともここ2、3か月あまり変わらない。競争、条件が非常に厳しく、目玉商品等を出しても消費者の反応が鈍い。	
	コンビニ(エリア担当)	販売量の動き	・梅雨明けが遅かったため、ソフトドリンク、アイス、氷等の売行きが伸びていない。非常に厳しい状況である。	
	衣料品専門店(経営者)	来客数の動き	・単価の高い商品の動きは鈍いが、客数は少し増えている。	
	衣料品専門店(店員)	単価の動き	・販売量が増加しているが、セールのため一品単価が3か月前の半額であり、利益はほとんどない。	
	衣料品専門店(総務担当)	来客数の動き	・来客数が前年比8%ほど減少している。長雨で気温が上がらず、ミセス向け夏物商品の売行きが悪い。ヤングは前年並みである。	
	家電量販店(経営者)	販売量の動き	・長梅雨の影響で、エアコン等の季節商品の売上が伸びなかった。	

	自動車備品販売店（従業員）	来客数の動き	・来客数が前年割れになり、客単価も落ちている。自動車ディーラーが、カーナビ、エアロパーツ、ETC等のカー用品分野に重点を置いている点も影響している。
	その他専門店 [ガソリンスタンド]（統括）	競争相手の様子	・大手企業が参入した影響もあるが、無理を承知で低価格をつけて集客を図る同業者が増えている。
	高級レストラン（専務）	単価の動き	・相変わらず来客数が増えず、単価も低いままであり、廃業、撤退する店が増えている。
	一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・長梅雨で客足が落ちている。依然として値引きをした店に客はなびいている。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数が前年比3割減となった。多人数の団体客がかなり少なかった。
	都市型ホテル（スタッフ）	販売量の動き	・家計支出を抑える傾向は強く、上半期累計でも前年比マイナスとなっている。
	旅行代理店（業務担当）	販売量の動き	・SARSの安全宣言が出たことにより、海外旅行の回復を期待しているが、いまだに申込みは例年の半分程度である。
	タクシー運転手	来客数の動き	・昼夜ともに客が少ない。最近は客がタクシー会社を選んで乗るようになった。
	タクシー運転手	お客様の様子	・中元のシーズンなので客の動きはあるが、売上は3か月前と変わらない。
	タクシー運転手	来客数の動き	・長崎はゆめ総体の影響で客の動きはいくらか出ているが、全体的には横ばい傾向である。
	タクシー運転手	お客様の様子	・県外からの観光客は多いようだが、レンタカー、バスの利用が多く、タクシーの利用が少ない。夜は暑くなっているのでピアガーデンがはやっているが、タクシーの利用は少ない。
	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・顧客のニーズを引き出すために、多様な割引プロモーションや新サービスを提案しているが、ヒットしない。また、付加価値を追求するあまり、提案内容が消費者にとって複雑なものとなってしまう、顧客の関心が集まらない。
	観光名所（職員）	来客数の動き	・客数が前年比7%増になったが、混み具合はさほど変わっていない。休日も200人を超す日はほとんどなく、低い客数で推移している。
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・プレー代を安くしているが、なかなか客が来ない。また、大きなコンペが少ない。小人数での利用者が昨年より増えているが、3～5年前と比べると客数は減っている。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・来客、建売注文等はあるが、契約には結びつかない。
やや悪くなっている	一般小売店 [茶]（店長）	販売量の動き	・来店客数、客単価が下落している。
	百貨店（業務担当）	お客様の様子	・夏物衣料のセール期にもかかわらず、単品買いが目立つ。リビング用品、雑貨といった季節商材の売上に結びつかない。
	スーパー（店長）	単価の動き	・社会保険料負担増の影響で買い控えが起こっている。また、長梅雨の影響で、ゆかた、水着等の高単価商品が落ち込んでいる。
	スーパー（総務担当）	お客様の様子	・冷夏のために夏物商材の売行きが非常に悪い。
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・相変わらず商店街は閑散としているが、得意客の購買意欲が以前より動き出している。しかし景気はよくなっていない。
	家電量販店（企画担当）	販売量の動き	・冷夏の影響で夏物商品が売れていない。
	高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きが本当に鈍く、予約もあまり入っていない。客単価は変わらない。
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・夏休みの旅行客があまり伸びず、苦戦している。
	通信会社（管理担当）	販売量の動き	・ケーブルテレビの加入者が増加せず、加入している人の解約も多くなっている。
悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・雨が多く来街者が少ない。木、金、土、日の4日間で中心街の通行量調査をしているが、昨年より悪くなっている。

		商店街（組合職員）	それ以外	・7月の水害で市内商店街、約580店舗が浸水被害に遭った。月末営業再開した店舗は約20%程度で、被害金額は計り知れない。各店舗は再生復興に向けて大変頑張っているが、個人商店は厳しい。
		百貨店（営業担当）	来客数の動き	・長梅雨、集中豪雨の影響で、来客数が2か月続けて落ち込んでいる。夏物クリアランス序盤戦の出鼻をくじかれた。
		美容室（経営者）	販売量の動き	・例年売上が伸びる盆前の時期に雨が多く、売上が動いていない。
企業 動向 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	鉄鋼業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・売上、契約価格とも上昇局面にある。主原料の鉄スクラップ価格は強含んでいるがまだ安定しており、月次収支はまずまずである。
		精密機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現状受注が非常に多くなって、納期後れが出ている。残業は一人平均約50時間に達している。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・海外向け製品の注文が多く来ている。
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・資金需要が乏しいことには変わりはないが、取引先の業績は以前ほど悪化の方向には向かっていない。底は打ったという印象がある。	
変わらない	農林水産業（従業者）	受注価格や販売価格の動き	・販売価格が上がらない。ある程度所得が改善しない限り、消費は伸びない。	
		家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・家具業界は各社とも付加価値商品を投入しているが、実態は低価格のものが主流であり、売上増につながっていない。
	金属製品製造業（企画担当）	それ以外	・地方の中小物件にも大手企業が参入しており、受注が厳しくなってきた。	
	建設業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・公共工事、民間工事とも改善のきざしが見えず、しばらくは厳しい状況が続く。	
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・新規案件の受注量が減少してきた。契約件数は増えても受注額が低く、商売にならない。	
	広告代理店（従業員）	受注量や販売量の動き	・売上は前年を上回っているが、粗利益は下回っている。	
	経営コンサルタント	それ以外	・ベンチャー企業からの相談を受け付けているが、ここ数か月件数が減っており、低調なまま推移している。	
やや悪くなっている	輸送業（従業員）	受注量や販売量の動き	・月初旬に多くの商品が売れたが、その後は動きがない。商品の取扱量が減っている。	
	通信業（職員）	受注量や販売量の動き	・自治体情報化の整備が進み、ケーブルテレビ、地域イントラネットなどの受注量が落ち込んでいる。	
悪くなっている				
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数が6か月連続で増加している。また新規求人数も3か月連続前年比10%台の増加となっている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・生産が好調な半導体関連製造業からの求人を始め、主要産業からの求人が増加している。
	変わらない	学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・事務系の求人数が依然として非常に少ない。皆探しているが求人が出ないという現実がある。
やや悪くなっている				
悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	周辺企業の様子	・ある企業では、グループ会社各社がやっていた求人、アウトソーシング会社を作って窓口を一本化し、人員削減、募集経費の削減を徹底し始めている。	